

公民連携推進全国首長フォーラム勉強会を開催

令和6年11月21日（木）にオンラインにて、公民連携推進全国首長フォーラム会員を対象に勉強会を開催いたしました。全国から多くの方にご参加をいただき、盛会のうちに終わることができました。

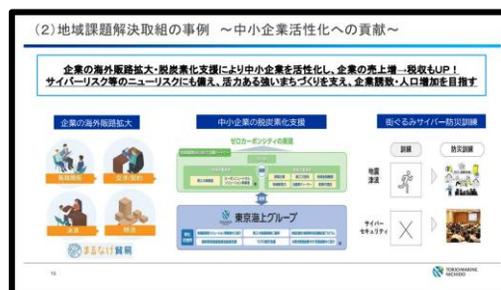
1 開会挨拶

野田義和会長（東大阪市長）より、「今回の勉強会は、多くの自治体と公民連携を推進している企業2社にご講演いただく。参加いただいている皆様には公民連携の勉強の場としてご活用いただきたい。」と挨拶がありました。



2 公民連携に関する講演① 「地域課題解決とリスクマネジメント ～社会インフラ産業として保険会社が果たす新たな役割～」 東京海上日動火災保険株式会社 大阪南支店長 金井 仁 氏

地域課題と保険会社が果たす新たな役割として、保険商品とリスクソリューションを提供した地域課題解決の貢献や自治体と実施している取組事例（地域脱炭素、中小企業活性化、地域住民の健康増進）などについてご講演いただきました。



3 公民連携に関する講演② 「公民連携でより良いまちづくりを ～子どもと文化教育施設～」 大和リース株式会社 民間活力研究所 取締役常務執行役員 浮穴 浩一 氏

公共施設の効果的な機能配置・事業手法について、複合化、集約化、シェアをキーワードに、文化教育施設や子育て支援施設など具体的なPFI事業の事例を用いてご講演いただきました。



4 閉会挨拶

田辺一城幹事（古賀市長）より、「東京海上日動のCO2排出量の抑制など地元中小企業も悩んでいるなか、示唆に富んだ講演だった。また、大和リースの公共施設の総合管理など持続可能性を高めるためのシェアリングエコノミーの概念等は重要である。両社から学ばせてもらったことを本フォーラムとしても活かしていきたい」とお話しいただきました。

